

貴重な体験
ときどきホームステイ

「暑かったなあ……」 上尾の暑さに感激!

町内の小学生11人が7月26日～7月30日の日程で、埼玉県上尾市を訪問しました。帰町後に行われた報告会では、上尾市での思い出や感想を述べ、多くの子どもたちから「暑かったなあ……。」と埼玉の暑さを肌で感じた感想が語られていました。

訪問中は、上尾市役所を見学した他、上尾市子ども会とのレクリエーション交流やホームステイ、消防署の見学など盛りだくさんの日程で、上尾市の子どもたちと親睦を深めていきました。

8月6日、町の教育委員会で報告会が行われました。団長を務めた山田桃華さん（忠類小6年）は「上尾市役所の見学やホームステイなど多くの体験ができた。学校の友達に話したい」と感想を述べました。

その後、木幡梨里香さん（忠類小5年）と三森菜央さん（札北小6年）から作文が発表され「とても親切にしてくれて、嬉しかった」などと思いを発表。飯田教育長は「都会の良さや田舎の良さ、それぞれを感じたと思う。この経験を生かし、これからの学校生活に役立ててほしい。」と話していました。



「楽しかった」思い出 夏の思

「川遊びをしたのが思い出！」 文化の違いを感じた4日間

幕別町小学生国内研修に町内の小学校から20人が参加し、8月2日から4日間の日程で宮崎県日向市東郷町を訪問しました。町では、1995年から東郷町との間で、相互に子どもたちを派遣する交流研修事業を行っています。



東郷町では、若山牧水記念文学館の見学をはじめ、西都原古墳やホームステイなど、子どもたちは思い出に残る研修を行いました。2日目には、地元小学生の指導の下、ひよっこと夏祭りに参加し、交流を深めました。

8月8日に報告会が行われ、団長を務めた熊田有右さん（途別小6年）は「気候や言葉の違いを感じた。川遊びをしたのが思い出」と話していました。子どもたちの感想を聞いた飯田教育長は「文化や歴史の違いを感じられたことは大きな財産。この夏の思い出を大切に、学校生活に役立ててほしい」と述べました。

